

附帯意見（案）

（市第 42 号議案（関係部分））

市第 42 号議案 令和 8 年度横浜市一般会計補正予算（第 1 号）における「よこはま安心ボックス設置支援事業（地域防犯活動支援事業）」の事業手法や予算執行等については、重大な課題があると言わざるを得ない。

市民の信頼に基づく透明で適正な市政運営を確保する観点から、事業所管局においては、次の事項に特段の対応を図られたい。

- 1 「よこはま安心ボックス設置支援事業」に係る補正予算の執行に当たっては、この間の事業執行の経過を十分に踏まえつつ、市民間の公平性・公正性の観点から今後の事業手法を見直すとともに、令和 8 年 10 月 18 日に執行される横浜市長選挙の公平性・中立性を確保する観点から、同選挙後、一定期間を経過後の実施とすること。
- 2 引き続き令和 9 年度以降も同事業を進める場合には、需要予測、補助対象及び補助水準の妥当性等の制度設計並びに防犯対策や脱炭素化等の事業効果について、十分な検証を実施した上で、事業の可否を判断すること。